



れとも反

か、非かー、原発扱いで今、様々な議論

があります。滋賀県の嘉田知事は武村元官房長官の卒派で、「卒原発」を主張します。お隣の京都府・山田知事は「縮原発」です。福島原発事故以来、エネルギーとして原発どうあるべきか、議論はまだ入り口の様です。

原発は脱か、卒か、縮かーそ

文化・経済フォーラム滋賀は6月27日、経営、企画、広報3部会のトップを切って、県庁前の滋賀会館4階会議室で第1回広報部会を開催しました。出席は馬場章・広報部会長に加え、当日の朝にどうですか?と出席打診でしたが、中村順一・経営部会長にも出てもらい、事務局側5人を含む17人の皆さんでした。お名前は別表(敬称略)のとおりです。ざっと1時間半ほど会議を持ち、滋賀会館北側の食事処「エンブティー」で懇親会も開催しました。初めて顔合わせ方もあり、会議終わって、名刺交換の場面などありました。が、会議以上に盛り上がったようです。

肝心の初会議ですが、馬場部会長の挨拶で始まり、最初出席者の自己紹介がありました。会議は馬場部会長が議長役で、最初に事務局の竹村さんが文化・経済フォーラム滋賀の設立以来の取り組みについて、メールマガジンを中心に説明して、広報活動について、自由な話し合いになりました。有田さんがまとめてくれたメモをベースにかなり大雑把に会議を振り返ってみます。

| 広報部会   |               |
|--------|---------------|
| 馬場章    | びわ湖放送社長       |
| 伊庭貞一   | 伊庭能面教室        |
| 岩根順子   | サンライズ出版代表取締役  |
| 川崎透    | 県写真連盟顧問       |
| 辻村琴美   | 新江州           |
| 長井泰彦   | 写真家           |
| 西垣真智子  | 比良比叡自然学校理事    |
| 西川賢司   | 県社会福祉事業団企画事業部 |
| 藤井哲也   | 大津市議員         |
| 松崎和弘   | ドットラボ代表       |
| オブザーバー |               |
| 中村順一   | 淡海文化振興財団理事長   |
| 加藤賢治   | 成安造形大地域連携センター |
| 事務局    |               |
| 岸野洋    | 県文化振興事業団理事長   |
| 竹村憲男   | 〃事務局次長        |
| 満田芳教   | 〃文化経営戦略室長     |
| 福本美紀   | 〃文化経営戦略室      |
| 有田淳    | 〃             |

初めての顔合わせ、最初は硬さがありましたが、馬場部会長のご意見どうぞーの問いかけで、最初に辻村さんが「質問が一つあります」と手を挙げました。～次の総会へ向けて、

どう広報されるんでしょうか～という内容だったと思いますが、これをきっかけに皆さんそれぞれに発言していただきました。会員増強策では伊庭さんが「私は知人を勧誘して、



一人入会してもらいました。今いる会員がそれぞれの知り合いに働きかければ、1人が2人、2人が4人と増えていきます」と、率先垂範の事例を示されま

した。ありがたいことです。

耳の痛い話もありました。フォーラムという組織はどこか敷居が高い気がする 若者がこういう組織にかかわりたがらない 文化で滋賀を元気に！のシンボルマークが普及していない...などでした。幹事会議、部会長会議、スタッフ会議では出てこない意見が沢山あり、参考になりました。ことにシンボルマークは県側に使用承認の申請用紙があり、かなり面倒なことが指摘されました。普及するには、もっと簡単に手続きできるようにーという意見が多く、次の部会長会議で検討することになりました。

今年度の事業計画にあげている<文化で滋賀を元気に！賞>は、早くポスター・チラシを作って、県内広く募集をかけるべきだという長井さんの提案もありました。募集チラシをつくれば、組織のPRにもなり、一石二鳥の効果があるというご意見でした。なるほどなあーと思います。岩根さんは、県内で既にメセナ活動等に取り組んでいる企業や団体との関わり方、中村経営部会長は岡山県文化連盟の事例紹介など、随所でお話を頂きました。このほか、企業、民間で取り組まれている個々の文化活動を集約し、大きな力にしていけるべきだ 近年、琵琶湖の環境を求めて若い人が集まっている。こうした人たちを組織に取り込めないか。 会員が気軽に関わりあい、交流できる場を数多く企画すべきだーなどの意見が出ました。

文化・経済フォーラム滋賀は、次回7月14日(木)午後4時からびわ湖ホールで部会長会議を開催、この日の広報部会で出た意見を紹介したいと思います。

滋賀銀行会長で県経済団体連合会の高田会長に年初の会合で「今年は滋賀の時代」と言わしめた要素の一つにNHK大河ドラマ、姫たちの戦国～お江～があります。放映以来、視聴率はどう推移しているのでしょうか。ネット検索して調べてみました。結果は別表のとおりです。東日本大震災で1週間とびましたが、それまで9回の放映で8回まで20台だったのに震災以降ちょっと下降線をたどり、最近はやがたり下がったりのようです。

関東と関西は回により差がありますが、平均では関西の視聴率が上です。過去最高は第3回の<信長の秘密>で、関西地区は23%を記録しています。これからどう視聴率が推移するのか、20%に届くかどうか、注目したいと思います。

大河ドラマ効果の方ですが、29日付け各紙の県版で、長浜市の「黒壁」の10年度決算が4年ぶり黒字 - と載っていました。売り

| 放送回数 | 日付    | 視聴率   |       |       |
|------|-------|-------|-------|-------|
|      |       | 関東    | 関西    |       |
| 第1回  | 1月9日  | 21.7  | 20.9  | 湖国の姫  |
| 第2回  | 1月16日 | 22.1  | 21.9  | 父の仇   |
| 第3回  | 1月23日 | 22.6  | 23.4  | 信長の秘密 |
| 第4回  | 1月30日 | 21.5  | 22.6  | 本能寺へ  |
| 第5回  | 2月6日  | 22    | 22    | 本能寺の変 |
| 第6回  | 2月13日 | 19.6  | 20.7  | 光秀の天下 |
| 第7回  | 2月20日 | 18.5  | 18.1  | 母の再婚  |
| 第8回  | 2月27日 | 20.9  | 20    | 初めての父 |
| 第9回  | 3月6日  | 20    | 21.6  | 義父の涙  |
| 第10回 | 3月20日 | 16.9  | 17.2  | わかれ   |
| 第11回 | 3月27日 | 15.7  | 17.6  | 猿の人質  |
| 第12回 | 4月3日  | 17.1  | 17.6  | 茶々の反乱 |
| 第13回 | 4月10日 | 16.6  | 15.4  | 花嫁の決意 |
| 第14回 | 4月17日 | 19.2  | 17.5  | 離縁せよ  |
| 第15回 | 4月24日 | 18    | 18.3  | 猿の正体  |
| 第16回 | 5月1日  | 15.9  | 16    | 関白秀吉  |
| 第17回 | 5月8日  | 20.7  | 16.4  | 家康の花嫁 |
| 第18回 | 5月15日 | 18.1  | 19.6  | 恋しくて  |
| 第19回 | 5月22日 | 17.3  | 17.4  | 初の縁談  |
| 第20回 | 5月29日 | 19    | 20.3  | 茶々の恋  |
| 第21回 | 6月5日  | 17.6  | 17.3  | 豊臣の妻  |
| 第22回 | 6月12日 | 18.3  | 18    | 父母の肖像 |
| 第23回 | 6月19日 | 18    | 15.9  | 人質秀忠  |
| 第24回 | 6月26日 | 18.1  | -     | 利休切腹  |
|      |       | 18.98 | 18.94 |       |

上高は前年度11%増の6億3千2百万円で、当期純利益567万円だったそうです。大河ドラマの影響で、1～3月の長浜市内は約50万人、前年同期比2.3倍の来訪があったようで、これが効いたようです。中日新聞紙面によりますと、4月以降も来訪者は増加傾向にあり、黒壁スクエア一帯は連日100～120台の観光バスが訪れているようです。滋賀県にとって有り難いことですが、JTB大津支店によると、県内全体への効果度からいうと、観光客は湖北と雄琴に偏り、それ以外の地域はそう増えていないようです。いずれにしても、ポスト大河で、早めに知恵を絞ることでしょうか。



事務局から新会員のご紹介をします。広報部会で伊庭さんから話がありました観世流能楽師の浦部好弘様 = 写真、愛荘町 = に入会戴きました。それと4月以降では滋賀県人事に伴い、県総合政策部の西嶋栄治様（大津市）多胡豊章様（高島市）のお二人、彦根文化連盟の中村一雄会長、長浜市の古橋正邦様に加入いただき、29日現在、会員数は法人47、団体36、個人139の合計222名となっています。

毎日、毎日が30度を超す梅雨の晴れ間、九州では例年より半月も早く、梅雨が明けたようです。滋賀もそろそろでしょうか。（文責 岸野）